

浜田山駅南口整備事業に関する現況報告会
議事録

令和7年11月7日(金)
杉並区都市整備部拠点整備担当

会議名称	浜田山駅南口整備事業に関する現況報告会
日 時	令和7年11月7日(金)18:00～20:00
場 所	浜田山会館
出席者	<p>■杉並区 都市整備部まちづくり担当部長、拠点整備担当課長、荻窪まちづくり担当係長、拠点整備係長</p> <p>■区民 171名(東京都議会議員2名、杉並区議会議員6名含む)</p>
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 浜田山駅南口整備に向けたこれまでの経過</p> <p>3. 質疑応答</p> <p>4. 閉会</p>

1. 開会

(担当課長挨拶)

お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日は浜田山駅南口の開設に向けたこれまでの取組につきまして、これまでの経過と今後の対応等につきまして、ご説明をさせていただけたらと考えてございます。

詳細につきましては、後ほど職員から説明させていただきますけれども、令和3年9月に整備に向けた取組を開始することにつきまして、区の会議に報告をいたし、了承を得た上で、京王電鉄様と協定書を締結したという経過でございます。また、整備に当たりまして、土地・建物を所有する地権者様と、条件面につきまして、交渉を重ねてきたところであるのですけれども、合意に至らず、令和5年1月に建物の賃借につきまして、区の会議に報告し、了承を得た上で、当初計画が今現在凍結になっているというところでございます。この間、整備に向けまして、新しく大きな動きというものは特段あるわけではないですけれども、まずは現状と取組につきまして、ご説明させていただいた後、今後も引き続き、地域の皆様の声を聞きながら、より良い形で事業を進めていきたいというふうに考えているところでございます。

本日はお答えできる範囲とはなりますけれども、皆様からのご質問やご意見をお受けいたしたいと考えておりますので、どうぞ最後までよろしくお願いいたします。

この後、司会より、本日の出席者である区の職員を紹介、進行と録音・録画等に関する注意事項を説明。

2. 浜田山駅南口整備に向けたこれまでの経過

担当係長より、資料に沿って説明。

3. 質疑応答

発言者 (参加者住所)	発言内容
参加者① (高井戸東1丁目)	今日、4名の方がいらっしゃっていて、大林さん、それから吉見さん、渡邊さん、あと鈴木さん。前回お願いした経営会議の記録が出てきているけれども、令和5年1月の会議には、都市整備部長と書いてあるが、吉見さんだったか。前任か。
担当課長	前任(の時代)である。
参加者①	他の方で、この経営会議に参加した方はいるか。
担当課長	私も4月からである(ので参加していない)。
参加者①	承知した。区からの説明の中に、非常に気になるものがいっぱいある。この会議の記録(経営会議の記録)の審議の要点の最後の方で、「なお、浜田山の南口整備につきましては、引き続き地域の動向を注視しながら、今後の整備方針を京王電鉄と協議検討していく」と2年以上前に言っている。引き続き地域の動向を2年間注視しながら、何

	<p>がどうなったのか、今後の整備の方針を協議したのか、しなかったのか、検討したのかどうか。はっきり言って、非常に曖昧でわからない。文章が非常に簡易的で、中身がない。</p> <p>それから、ご説明の書類の3ページ目、区長の浜田山駅の現地視察。政務活動、要するに選挙活動で来ただけでは、見ている時間なんかなかなかないと思う。現状見たかって言われて、担当が報告したと書いてある。どなたが、どのような報告をされたのか。（南口整備は）必要ないと報告されたのか。</p> <p>篠崎駅については調べたと書いてあるが、整備の方法が違うとのこと。では、彼らはどうやって実現したのか。</p> <p>それから最後のページ。現状について、「安全対策を実施している」、「直近10年間、浜田山駅そばの2か所の踏切での列車との接触による事故がありません」と書いてあるが、確かに安全対策として、列車がよく止まる。今日も止まった。途中急ブレーキをかけて。なぜかという、おそらく踏切の中に人が入っていたからだ。最近しょっちゅうある。安全のためかもしれないが、そんなことより、もっと駅そのものを安全にしてほしいと思っている。つまり、ちゃんと駅を整備した上で安全確保してほしい。過去十年何もなかったという、死人でも出ればやるのかと言いたくなる。この記載の意味がよくわからない。あれだけ色々な報告をして、危ないと言っているのに、実際に危険なことが起きなければ進めないのか。皆さんは区長の部下だから、区長が変わって、方針が変わったとしか思えない。意見が変わるのも結構。もっと税金節約しようと思って。戦うのも結構。結果的に放置しているのは許せない。自分のことしか考えていないと私は思う。</p>
担当課長	<p>経営会議の記録については、確かにこの記録だけを見ると、中身がないとのことのお叱りもあるかと理解しているが、当然その報告の中で、区長はじめ、各参加者に対しても、しっかりと報告をした上で、その内容について、了承が得られたということである。</p> <p>区長の現地視察の件については、確かに政務で現地を確認していると記載している。政務の中でも、当駅の状況、危険があるということは区長も認識しているし、（令和7年）第3回区議会定例会においても、浜田山駅の危険性等については十分認識し、現地の状況もわかっていると区長から答弁させていただいている。我々も10月17日に朝の8時から9時まで、現地に立たせていただいて、踏切の状況、また電車の本数を確認したところ。</p>
担当係長	<p>今回は浜田山駅とすぐ隣の1区画の敷地との間に通路を作りたいという状況だが、篠崎駅については、規模感が結構大きなところで、既存の（都営地下鉄）新宿線の駅周辺に、再開発のような形で、民間の共同住宅とか、駐輪場とか、公共施設とか、そういったものと一緒に整備して、出入口を作るというような計画になっている。自治体と民間で土地の交換などもあり、規模感、再開発であること、そもそも自治体が所有している場所に出入口を作ったということが、浜田山駅との大きな違いであると認識してい</p>

	る。
担当課長	<p>安全対策の話で、10年間事故がなかったと記載していることに関して、事故や死に至るようなことが起きなければやらないのかというお話があったが、決してそういうことではない。今後の対応のところにも書いているが、我々としても、当然、地権者の方との協議を進めていきたい。一方で、代替地での別ルートによる南口の整備に関してもこれから検討していきたいと思っているので、決して放置しているのではないとご理解いただきたい。</p>
参加者② (高井戸東1丁目)	<p>配布した資料について、説明させていただきたい。先ほど入口で、住民側の資料をお配りさせていただいた。その前に、ただいま、区の方から、区が配布した資料について、ご説明というよりは、ほとんど棒読みをお聞きした。この資料の中で「危険」という言葉が一言も出てきていない。要は、これは危険性を認識していないと判断せざるを得ないと私も思うし、皆さんもおそらく同じ考えを持つと思う。前回、7月29日に開催された説明会で54名の方が出られて、皆さんからかなり危険性に関しての意見が出ていた。この危険性ということに関しては、踏切事故が起って、もう死ななきゃ何も進まないのかというレベルで、とにかく踏切が開かずの踏切状態になっていて、しかも踏切の状況、形状が極めて悪い。そのために、特に足の不自由な高齢者であるとか、身体障がい者の方々が、踏切を渡りきれない。それで結局、その場で転んでしまって、数ヶ月入院した方もいらっしゃるという事実がある。その事実を全く調べようともしていない区の姿勢が、この資料に「危険」という言葉がないということに表れている。</p> <p>これを今、繰り返し言っても、もう無駄だろう。これから危険ということを訴えたい方もいらっしゃると思うが、今、私がかかなり強く言ったので、ここからのせっかくの時間、危険性を問う、あるいは意見をするような必要はないのではないのか。発言を制限するわけではないけれども、私が今、代わりに言ったつもりなので、ご納得いただきたい。</p> <p>続いて、お配りした資料の説明に入る。私どもが住民側の資料としてお配りした浜田山駅南口住民説明会質問リスト、配布用11月7日であるが、区議会議員さん並びに杉並区選出の都議会議員の方、また我々、住民の有志が集まり、この質問リストというものを作成させていただいた。この質問リストを見ていただけるとわかると思うが、何が危険だとか。あと区の方が何度も説明会を開くとか、言わばできない理由をダラダラと並べるようなものをこれ以上聞きたくないがために、この質問リストを用意した。大項目で言うと、安全対策と区長の認識、もう区長が見に来たことないということははっきりした。見に来ていない。政務活動で来た、選挙活動で来ただけ。区長の現場認識は、甘いと言わざるを得ない。2番目、経営委員会の判断と専門家不在の問題。このお配りした資料の2枚目に、経営会議記録というのがあるが、これは区議会議員さんが入手されたものを今日、住民側の資料として配らせていただいた。この経営会議の記録は、本来区側が配るべきものを我々が準備して配っているという事実がある。なぜこれを出さな</p>

	<p>いのか。また、これを読んだところで、結局何もわからない。何でわからないかというと、ここに至った経緯について、ほとんど説明がされていないから。私は区議会議員の方から、本当に何十ページもある資料を見せていただいた。その中には、京王電鉄、あるいは地権者の方。そういった方々との色々な議論や、あるいは基本協定書などが作られていたが、その色々な議論はすべてと言ってもいいほど黒塗り、のり弁の資料で、全く何も分からない。結局、その何も分からないことに関して、区側は何も説明しようとしなない。一体何が問題で、何が起きていて、何が阻害要因だったのか。このあたりというのは、区側は全く説明をするような感じがしない。今、やっぱり説明していない。この辺に関しては、やっぱり厳しく追求しなければならないと思う。事業費の妥当性と代替地の問題、これはあまり詳しく述べないが、どれだけ費用がかかるのかとか、代替地は一体どこにするのか、そういう問題もある。4番目、地権者との対話と今後について。ここで申し上げたいことは、あそこに今建っている建物、鉄筋建物の建物、皆さんご存知だと思うが、地権者の方は極めて協力的だと思う。地権者の方は、あれは駅が作れるような建物を建てている。あとは地下のトンネルを掘ってつなげれば駅になる。そこまで協力していただいている。それを止めているのは区としか言いようがない。お金の問題もあるかもしれないが、命とか危険性とか、お金と天秤にかけられない。この今日集まっている皆さん方が、いわゆる有権者であり、そして税金を払っている側である。これだけの方が集まっている重みというものを、やはり今日はしっかりと感じて、ぜひ区長にきちっと報告をしていただきたい。最後になるが、今後の再検討、要するに今後一体いつまでに何をどうしていくのか、年2回の説明会を繰り返すなんてとんでもない話だ。これをやっぱり、今日しっかりと、やはりタイムライン、時期、時間をちゃんと区切って、いつまでに何をどうするということの説明がなければ、到底納得ができないと思うので、その辺をぜひ皆さんもよくお考えになって、意見や質問を飛ばしていただきたい。</p>
担当課長	<p>先ほどのご質問でもお答えしたとおり、区長は現地を見ている。区長が変わったからこの事業が進まないということでもない。そこはしっかり皆様にご理解いただきたい。</p>
参加者②	<p>先ほど見ていないと言ったではないか。</p>
担当課長	<p>見ていないとは言っていない。</p>
参加者②	<p>政務活動でふらっと来ただけで、現実視察の形では来てないだろう。</p>
担当課長	<p>先ほども申し上げたが、(令和7年)第3回区議会定例会の中でも、現場を見ているし、危険があるということは承知していると区長が答弁している。決して見ていないということではないし、危険な状況にあるということは、区長はしっかりと認識しているので、そこはご理解いただきたい。</p> <p>今後も年2回程度、説明会をしていくとのお話を差し上げたが、約2年間、こういった形で、皆様とお話をする機会がなかったということについて、責任を感じている。今後は、皆様と意見交換をするために年2回程度やっていきたいと考え、それに向けた予算</p>

	<p>取りも今、しているところ。また、新たな方策、いわゆる代替地についても、来年度の予算取りに向けて、検討を進めている。じゃあいつまでに何をやるのかということで、先ほど来お話をいただいているけれども、この事業自体が止まらないように、我々としてもしっかりと進めていきたいと思っている。そこは皆さんにご理解いただきたい。</p>
参加者③	<p>すみません。今日、区から配られた資料で、先ほどの説明で、今のような話が全くないというのはどういうことなのか。今の方の質問に対して、区長が見ているとか何とか、色々なことを言っている。この配られた資料には、年に2回説明会をするぐらいしか書いていない。なぜ、今お答えになったようなことを紙にちゃんと書かないのか。</p>
担当課長	<p>ペーパー上は端的に書いているが、やはり説明の中で、しっかりと我々がどういったことを考えているのか、どういったことを思っているのかを説明すべきだったと考えている。大変失礼いたしました。</p>
参加者④ (浜田山4丁目)	<p>今日初めて説明会に出ていて、あまり詳しいことはわからないが、なぜ来たかという、なぜこの計画が頓挫したか、この理由が全くわからないからだ。このあかねがくぼさんのチラシの最後の方に、詳細は公表できないが、やはり賃料が合わなかったのの一つ。先ほどの質問者の方も、資料が黒塗りになっていた、詳細は公表できないと言われたとおっしゃっていた。その理由を聞かせてほしい。全くわからなかった。</p>
担当係長	<p>計画自体が頓挫したわけではなく、あくまでも、南側の用地に建てられた鉄筋コンクリートの建物をお借りして南口を整備しようと動いていたけれども、なかなか条件が折り合わなくて、一旦、交渉を中断している状況。</p>
参加者④	<p>交渉が中断した理由を聞いている。分かりやすく伝えてほしい。そんなに秘密にしなければいけないような内容なのか。だいたいそれがわからないから、区長がどうのっていうより、もっと具体的な話をしたい。</p>
担当課長	<p>我々としても、そこに関しては皆様にしっかりお伝えしたいところではあるけれども、地権者の方とのこれからの関係性も考えなければならない。当然、あの場所で南口を整備する案も我々としては捨ててなくて、他のルートの検討についても先ほど申し上げたけれども、これからも、あの場所での整備の可能性を我々としては取っておきたいと思っている。そういった交渉をする中で、すべてをつまびらかにしてしまうと、地権者の方にご迷惑をおかけしてしまう可能性も私はあると思っており、詳細についてお答えすることは難しい。</p>
参加者④	<p>地権者の方も公表してしないでくれと言っているのか。</p>
担当課長	<p>そうである。</p>
参加者⑤ (浜田山3丁目)	<p>(地権者はそんなことは) 言っていない。地権者の方と何度も話を重ねたとおっしゃっているが、ベルギーからいらした区長さんになってから、何回ぐらい話し合いをされているか。</p>
担当課長	<p>この間、地権者ご本人の方とお会いすることはできていない。</p>

参加者⑤	それは知っている。代理人の弁護士を立てている。
担当課長	弁護士の方を通してお話をしている。もうちょっとお話をすると、今回の説明会を開催するということも含めて、我々としては地権者の方に連絡をしたいということで、弁護士を通してこの話をさせていただいた。
参加者⑤	ですから、弁護士を立てているので、まずはその弁護士の方に話を聞いてもらいたい。
担当課長	地権者の方との接触ということで申し上げれば、我々としてもそういったアクションを起こしたということ。ただ、地権者の方からは、今はお会いすることはできないと回答を得た。
参加者⑤	ですから、地権者はすべて、弁護士の方をお願いしていて、その弁護士の方に連絡をしてほしいと言っているのに、連絡は全然ないと地権者の方から伺っている。私は地権者ではないが、地権者の方としては、今回これをやるっていうのは伺ったけれども、要するに予算をつけてくれるかどうか、それが一番問題だ、とのこと。前区長で一応、話はまとまった。それを聞いて地権者の方は、自分の私財で建物を建てている。今、もう壁一つ、ぶち抜けばすぐできるぐらいだから、一ヶ月もしたら通路はできるかもしれない。それぐらいできている。それをいきなり、新しい区長になった途端にこれはもうダメだって言われて、地権者の方がもしお金が本当になかったら破産している。あんなすごい建物を建てて。それなのに合意がなかったとか言っているけれども、一回合意して、確か区のお知らせにも来年いよいよ通路ができますと書いてあったと思う。それなのに区長が変わった途端に予算をつけれないとなったのはおかしいと思う。来年度の予算さえつけていただければ、すぐに開通はできる。お願いします。
担当課長	先ほど来お話ししているけれども、区長が変わったから、この件が頓挫をしたということではない。先ほど来申し上げているが、少しでもお話しすると、やはり賃料が合わなかったということが一つの大きいポイントになったと考えている。我々としても、地権者の方とお会いしたいということでアクションを起こしているが、なかなか直接お会いできていないということもあり、弁護士の方を通じて、お話をさせていただいた。
参加者⑥	今の話、賃料が高いっていうのが、まあ嘘じゃないかなと思うので、そこを説明させていただく。住民でまとめた資料の3番目にもある。今の賃料を計算されているか。今の賃料と初期費用。まあ賃借20年でも何年でも、今の経済価値に直した形で、この事業全体でいくらかかるか。私が計算すると、だいたい3.5億円から4.4億円ぐらいの範囲になってくる。一方で、土地を取得して用地買収して、建物を建ててトンネルを掘っていくと、だいたいまあ、今の土地でも5.9億円かかる。それ以外の代替地のお話もされていたが、代替地だとトンネルを掘るお金がかかるので、多分、5.9億円以上かかる。つまり、今の地権者の方からの賃貸が一番安いはず。それを法外というふうに前回おっしゃったと思うが、どういう根拠から法外とおっしゃっているのかわからないので、それを教

	<p>えてほしい。</p> <p>2つ目は、経営会議の話に戻るが、3億円から6億円の事業なので、2019年の総務省のガイドラインによると、第三者を含めて判断しないとやめてはいけなはず。まあ、もちろん法的な拘束力はないと書いてあるけれども、地権者の方との契約交渉における条件が法外だと判断した時に、不動産鑑定士であるとか、そういった方を含めない中で意思決定するというのは、まあ、ガバナンスの欠如というか、民間企業ではあり得ないような意思決定をされているのではないかと思う。経営会議の参加者の方の独断で高いと判断されたように思えるが、見解をお伺いしたい。</p> <p>最後、3つ目。さっきもおっしゃっていたが、地権者の方は建物を、私財を投げて建てられて、覚書を書いて、もう開設するつもりで整備もされて、この2年間ずっとメンテナンスされている。行政としても、覚書を書いて、契約をする前提の中で、地権者の方との話を進めていたのに、交渉が途中で終わったわけ。これは詐欺行為で、この部分の不利益、この2年間、建物を建てた費用であるとか、メンテナンス費用など、色々な不利益を地権者の方は負っていると思うが、弁済とかはしないのか。それをしない限り、普通、再交渉のテーブルに立っていただけない。やっぱり区の方がこの2年間、変な意思決定をもとに契約を止めたことに対して、地権者の方になんらか、客観的で一般的な弁済をした上で、交渉しないと地権者の方は嫌だろう。また話し合いの途中で頓挫するのではないかと思うのが普通だ。</p> <p>質問は3点。1つ目は賃料のこと。2年間探していて、今回の条件よりも良い条件の代替地が見つかるのか、私は見つからないと思う。普通に試算すると。2つ目は経営会議。本当は第三者を入れて判断しないと総務省のガイドライン的にちょっとおかしいと思うが、それをやっていなくて法外と言ったのはなぜか。3つ目が、地権者の方になんらか弁済をして再交渉していただくような準備ができていないのか。</p>
担当係長	<p>まず賃料について、区の考え方としては、近くの、同程度の同規模の建物の賃料を調べたり、区でもいくつか民間の建物を借りて、そこに事務所を構えているという施設もあるので、そういったところを参考にしたりして、区の方で試算して、提示したというもの。地権者様の方からも金額を提示されていて、それとはなかなか折り合わなかった。</p>
参加者⑥	<p>提示された金額は法外だったのか。</p>
担当係長	<p>区の考え方で出した金額に対して、かなり高かった。</p>
参加者⑥	<p>区の中で計算して、ちょっと高いなと思ったので契約をやめましたということか。第三者が見て、この事業に関しては、あの場所が適地であることも踏まえて判断したわけではないということだろう。ちゃんと判断してない。私が計算すると、あの場所以上に安くなる用地はない。2年間探してあったのか。</p>
担当課長	<p>代替用地について言えば、もともと想定していた建物が一番適地だろうと考えている。ただ、例えば代替のプランとして、今考えていることとすれば、三角公園を活用して、</p>

	例えば道路、地下道を掘っていくだとか、あと線路の下を掘るだとか、そういったことも一つの案にはなるかと思う。ただ、それが経済的な観点で実行性があるのかどうかというところは確かにあると思うが、もうあの場所しかないから、これ以上検討が進まないということではないということ、区としても（代替案についても）しっかり検討していきたいと考えている。
参加者⑥	意思決定の優先順位がよくわからない。三角公園からトンネルを掘ると、多分二桁億円の事業になってくるはず。しかも作るのに何年かかることか。今、法外とおっしゃっている金額について、不動産鑑定士などを含めて再検証しないで、資産取得するより安い額でできる場所、地権者の方がだいぶ負担している土地があるのに、そこでやらなくて、三角公園から掘ることを考えるとしてしまうのは、一般的にあり得ない。
担当部長	今の件で、確かにあの場所をお借りできるのであれば、それが最適だというのはおっしゃる通りだと思う。一方で、区の土地を使ってハード整備をするというようなことも考えているのは、お借りするのではなく、区が買収した土地や区の土地で整備をすると、その場合、国庫補助金などが入りやすくなるというのはある。土地・建物をお借りするフローの金額というのは、国等の補助金の対象には基本的にならず、全額区が負担することになり、財政負担としては大きいものがあるのは事実。
参加者⑥	借りた場合と補助金の活用をして整備した場合とで試算したか。
担当部長	まさに、三角公園から掘っていったときにどれぐらいの予算規模になるのかというようなことを今内部では検討している状況。
参加者⑥	それをなぜ経営会議の後の2年間の中でやらなかったのかよくわからない。以前から話にあがっていた場所について、今になってようやくそういう検討をして、しかも今日その検討結果を用意していない。遅すぎる。
担当部長	あとは、その他のあの周辺の土地で、空きが出る場所がないかとか、そういったことを待っているわけではないが、その状況の確認等はこの2年間もしていた。
参加者⑥	他の土地が空いたとしても、土地の取得単価と、建物にかかる費用は一緒だろう。土地の単価もそうだし、むしろ負担額は金利上昇もあって今後上がっていく。試算していただければと思うが、多分、今の条件よりも安い土地の候補は出てこないと思う。
担当課長	我々もあちらの場所が一番適地だと思っている。前回もちょっとお話したが、借りるにしても、賃料には当然我々公金を使いますので、対外的に説明できる裏付けが必要。要するに、例えば地権者の方が月50万だと言われて、我々の試算だと40万しかないと、交渉がなかなか厳しいことは現実としてある。だから、それがうまくいかなかったから、いわゆるその令和5年の時点で、一時中断、一旦断念したという結論に至っている。確かに地権者の方がおっしゃっている金額に我々が寄り添っていくのが、それはベストだと思う。しかし、できることとできないことがある。
参加者⑥	でも、その判断は、総務省のガイドラインに沿っていない、有識者を入れていない中

	で、令和5年の経営会議において地権者の方の条件に合わせられないという結論になっただけだろう。その判断が間違っていると言っている。もう1回改めて、今回のケースにおいて適正な金額はどうかというのを、渋谷区とか、新宿区、港区がやっているように、不動産鑑定士とかからしっかりと情報を集めた上で、経営会議で再度いくらまで払えるのか検討するのを、即時にやったほうがよいと思うが、どうか。
担当部長	繰り返しになってしまうが、当時、周辺の賃料相場や区における他の事例を参照したときに、かなり差があったのは事実。ただ、ご意見をいただいたので、改めて専門家の方に、どのくらいの金額が適正なのか確認したいと思う。
参加者⑥	要するに、あそこで意思決定した内容が、区のカバナンス上おかしいから、もう一度改めてあの条件を検討するため、経営会議を即時に開催してほしいと言っている。
担当部長	まずはその不動産鑑定士をお願いをして、賃料を算定した上で、区内の意思決定については考えたいと思う。
参加者⑥	いつごろやるのか。2年後、3年後か。
担当部長	できるだけ早期に行う。
参加者⑥	それはちょっと、タイミングは約束してもらいたい。これずっと2年間ね、みんな待っているから。
担当部長	算定を今年度内には行いたい。
担当課長	浜田山に関する予算は、今年度はつけていなかった。不動産鑑定をやる場合、当然費用はかかるのでその費用をどこから捻出する必要がある、今すぐやる、明日やるというわけにはいかない。そこも踏まえて、今お約束できる内容として、今年度中には鑑定を行い、地権者の方と話す上での新たな金額をしっかりと区としても出した上で、再度お話にいきたいと考えている。
参加者⑥	不動産鑑定と経営会議開催にどのくらいお金がかかるのかはよくわからないが、本来、今日、アクションプランを示して、次どうするかということをお話しいただきたかった。今までの意思決定が基本的にはガイドラインに沿ってないものだから、今回の意思決定の間違ったところをしっかりと謙虚に受け止めていただいて、なるべく今年度内に経営会議を開いて今の土地での検討を再開するとか、何らか進む意思決定をしてほしいし、そういうことを今日示してほしかったが、いつかやりますという感じで、今日は終わるのか。
担当課長	今日お約束できるのは、不動産鑑定を今年度中にやるということ。経営会議をやるのにお金はかからないが、経営会議をやるのは、話がある程度詰まってから、この方針で行くと決まった場合の報告と了承になる。基本的には、地権者の方とお話をして、ある程度お話がまとまってから、区として再度意思決定をすることになるだろう。
参加者⑤	地権者の方との再交渉と、その後の経営会議だとかは、だいたいどのくらいの目途でやっていくのか。

担当課長	それは相手がいることなので、我々としては今の現時点でいつまでにとお答えはできない。
担当部長	繰り返しになるが、今年度内に専門家に依頼をして、適正な賃料を算出していただく。その金額次第でその後の対応が変わると思うので、現時点で申し上げられるのはここまで。
参加者⑦	<p>色々な意見が出ているけれども、この話はもともと、区が決めて、区長も決めて、予算まで出て、区報に出て、みんなオーケーになって、私はまあよかったなと思って、ビラを配ってもいいですかって区に聞きに行ったら、どうぞと言われて、2000枚のビラを自分のお金でコピーして配った。ところが突如計画が壊れた。理由はなんだかがよくわからない。それは交渉のことで言えないって言われたけれども、区がいっぺん、区長も含めて決まったことが覆ったのは、区長が変わったからだと受け止めるのは当然のこと。経営会議のこの資料を見ると、区長が言い出したのではなくて、部長さんか誰か、そういった方が案を作って、それを経営会議で議論したら了承となったと書いてある。そうすると、区職員の皆さんが、ダメだという案を作って持っていったら、区長がそう、よし、ダメにしましょうと言ったように読める。もちろん、他に思わぬ安いところが出てきたとか、そういうことがあったら、もちろん計画は変えてもよいが、他の案が出てきたわけでもない。私どもは何も知らないので、地権者が反対していると思い込んでいた。ところが7月の会議で区が断ったと言われてびっくりした。区が断ったということは、一旦決まっていたのに何かまずいことがあったわけで、それを一番知っているのは皆さんだろう。しかしその話ではできないと言われると、もう何をどうしてよいかわからない。一旦決まったことをなぜ拒否したのか、あるいは皆さん方、部長さんたちがもっといい案があるので、あれはやめようと言い出して新しい区長が承認したのか、答えてもらわないと困る。</p> <p>これまでのプロセスがおかしかったということは認めるべき。区から拒否したわけだから、もう一度地権者の方と仲良くやっていただきたい。</p>
担当部長	<p>今ご指摘いただいたように、当時の情報の出し方に問題があったのは事実だと思っている。初めて具体的な賃料等についての議論が始まったのは令和4年の2月3月頃で、それも区長が変わる前ではあるが、そこから、区が受け入れられないということを伝えるなどして交渉していた。一方で、南口を整備すること自体は、設計の予算を区として措置する必要があったことから、具体的な交渉内容の議論に入る前の時点で既に区として外に申し上げていた。地域の皆様の期待があったにもかかわらず、その後になってから詳細の条件を詰め始めて、それが合わなかったということで、期待を裏切るような形になってしまったことについては、大変申し訳なく思っている。区の情報の出し方には課題があったと認識しているが、区長が変わったからダメになったということではなくて、前の区長の時から賃料の交渉は始まっていたけれどもなかなかそこが合わなかったということだ。また、先ほど地権者の方に賠償する必要があるのではないか、損害が</p>

	<p>生じてしまうのではないかというお話もあったが、建物が完成したのに、区と地権者の方で南口を整備する、しないというのを議論していることで、他のテナントを入れる可能性を潰してしまうと、(地権者の方に)機会損失が発生してしまうということもあって、一度交渉を断念したという経過になっている。</p>
参加者⑧	<p>吉見さんは都市整備部長か。都市整備部長でも、まちづくり担当部長でも、説得力があるのはエビデンスである。これからやりますなんて言われて、2年間何をやってたのかという話だ。</p> <p>鈴木さんには毎回丁寧に説明していただくが、現区長に対する^{おもんばか}慮りが非常に感じられて残念だ。はっきり言って、そのような必要はない。行政とトップは違うのだから、正しいことをしてほしい。</p> <p>京王電鉄と交渉しないのはなぜか。結局、彼らも受益者だから、区と地権者と京王電鉄と三者で痛み分けして費用を負担するということに持っていくのが話し合いだと思うのだが、なぜそうしないのか、私にはよくわからない。</p>
担当部長	<p>京王電鉄に関しては、以前もご説明させていただいたかもしれないけれども、会社の方針として、土地を借りて出口を整備するということはしないと聞いている。その土地が買えるとなった場合には、京王電鉄にも一部ご協力いただける可能性はあるかもしれない。</p>
参加者⑧	<p>その提案は進めたのか。</p>
担当部長	<p>今回の土地に関しては、売っていただくということは難しく、賃借の方法での交渉をしていた。</p>
担当課長	<p>先ほど来、お話しているけれども、まずお会いできないので、売ってくださいとか、貸してくださいとか、そういった話までまだたどり着いていないというのが正直なところ。弁護士の方にもお話をするけれども、なかなかお会いできていないのが現状。</p>
参加者⑤	<p>地権者の方は弁護士に任せてあるとおっしゃっていたので、弁護士に連絡をしてほしい。</p>
担当課長	<p>私どもも、弁護士を通じて会って話をしたい。本当にしたいと思っている。しかし、現実にはその弁護士を通じてお会いできないとのご回答を今いただいているというところ。</p>
参加者⑤	<p>話が、発展していないからだろう。ちゃんと予算を組んで、こういう風になりましたからという風に弁護士に言えば大丈夫。それまでは、あの人も忙しい人だから、ちゃんと弁護士に頼んである。弁護士に連絡するように。</p>
担当課長	<p>わかりました。</p>
参加者⑨ (浜田山1丁目)	<p>私は高校生を教えてきた。あわせて公共交通の問題についても関心があって、色々調べている。この雰囲気では違和感があると思うのは、区の責任はもちろんあると思うけれども、公共交通機関を運営する私鉄の責任ももっと追及されるべきだと思う。公</p>

	<p>公共交通機関の責務というのは、まず安全面だと思う。それから、次に同時並行で利便性だとか、環境だとか、運賃コストだとか、ネットワークの構築だとかいうようなことが出てくる。ところで、井の頭線の駅の変遷を見てくると、三鷹台の駅の移転というのは参考にならないのかなと思う。というのは、曲線上の島式ホームを相対式ホームに変えたと同時に、橋上駅舎に変えて、ホームを直線にしている。ホームは曲線であること自体、非常に危険があると思う。ホームドアがいくら整備されても、モニターテレビで車掌が視認できるとしても、車掌の位置にあるモニターテレビからは、荷物やコートが挟まれた様子が確認できないまま、発車してしまう。ホームドアの設置と同時に、井の頭線のワンマン運転が予定されているが、これは非常に問題だと思う。40か所の踏切があって、そのうちの1か所が浜田山の踏切だが、40か所のうちの33か所は、自動車も通る踏切である。最近10年間は、浜田山駅を中心にしたところでは、踏切事故は起きていないということが資料には書いてあるが、10年ちょっと前、浜田山駅で目の不自由な方が転落する死亡事故が起きている。ホームが曲線上にあるために、乗務員からはそれが確認できないまま事故に至ってしまった。三鷹台駅も、なぜ曲線ホームをやめて直線ホームにしたのかといったら、やはり曲線ホームでの事故があったから。そういうことも併せて考えると、浜田山の曲線上の島式ホームというのは、構造的に問題があると思う。私も井の頭線を使っている立場で、西永福、渋谷、吉祥寺辺りは使うけれども、井の頭公園の場合には、下りの曲線にかかる部分を避けて、三鷹台寄りに80メートルほどずらして止めるようになっている。そういうようなことで考えると、浜田山駅は会社側のデータでも1日延べ2万7千人利用しているので、島式ホームでホームドアができたからといって、また、反対側に通路を通したからといって、利用者の滞留が避けられるのかは心配だ。ホームを直線区間の浜田山2号踏切の辺りに動かすことも一つの選択肢ではないか。</p>
担当課長	<p>駅の構造によって死角ができることがあるというのはよくわかる。いただいたご意見は、鉄道会社も費用負担をしなくてよいのかということも含め、京王電鉄にお伝えする。</p>
参加者⑩ (浜田山2丁目)	<p>私は浜田山に暮らし始めて、高校生、大学生と過ごし、現在、大学に通っている。朝の時間、先ほど前の方が、身障者の方とか、高齢者の方が渡りづらいのが危険だとお話しされていたが、五体満足の子供の立場からしても、あの状況は大変危険だと思う。今は完全に健康で猛ダッシュができる私がギリギリで渡れるものを、平均的な浜田山住民の人が普通に渡れるものとは思わないので、とにかく若者世代からも早急な解決をしてほしいということをまずお伝えしたい。</p> <p>2点目として、今日初めてこの浜田山踏切に関する説明会に参加したが、このいただいた資料では、何が起きているのかよくわからないということをお伝えしたい。皆様の質疑応答の中で、予算の問題であったり、地権者の方との協議の問題であったり、京王電鉄の問題というのが、私にもだんだん理解できるようになってきたけれども、最初にいただいた説明の中では、この1枚目、裏面の主な意見の欄にも質問が羅列されている</p>

	<p>だけで、実際どのような議論が行われたのかとか、どれだけの情報が住民に共有されているのかということが全くわからない状況だ。大事なのは、このような説明会を何度も繰り返す状況が早く解決することだと思うが、今後また説明会を開くのであれば、初めて参加する人にもわかりやすい資料作成を心がけていただきたい。</p>
担当課長	<p>情報提供のご指摘に関して、現在は、この浜田山駅の取組についてのホームページがない。そういった意味でも、取組としてやっぱり薄かったのではないかと私も反省している。今日の議事録などをホームページに掲載し、浜田山駅の取組について、広く、わかりやすく皆様にお知らせするということをやっていきたい。</p>
参加者⑪ (高井戸東1丁目)	<p>これまでの議論を聞いていると、区長の一存で止まったかのような感じに聞こえてしまうけれども、杉並区議会議員の堀部やすしさんという方の報告にもあるが、「前区长、田中区长が選挙直前に駆け込みで締結した」ということについて。当時、私は浜田山に南口ができたらどんなに便利になることかと喜んだが、この報告には、「新規の建設投資事業は、将来負担の見通しを無視して検討することはできないものですが、前区长はそれらを明確に示すことなく、あろうことか選挙直前に次々と既定事実を積み重ね、置き土産としていったのです。疑問が拭えなかったことから、私は前区政時代より情報公開請求を行っていましたが、必要な情報は全く得られませんでした。その後、前区长は落選し、新区政、つまり岸本区政が立ち上がりました。7月、おかげさまで岸本聡子杉並区长名で、ある程度の情報公開が決定されるところとなりました。8月、しかしながら決定はあったものの、公開前に横やりが入り、現在この公開手続きは執行停止となっています。審査待ちの状態です。」と書かれている。利害関係者がそれを阻止したとなっていて、けれども、区長はそれを明らかにしようと言いつけてくださっていたようだ。せっかく決まったことを区長がストップさせたというような印象をお持ちの方もいらっしゃるかもしれないけれども、そうではなくて、情報公開をしたくてもできない状況があるようだ。私たちの敵は区長ではないのではないかと。区長に対して抗うのではなくて、まず、京王電鉄が経費を一切負担せずに、杉並区がこれを延々と払い続けなくてはいけないことが、まずおかしいのではないかと、そこから始めていきたい。</p>
担当係長	<p>京王電鉄の費用負担については、先ほども吉見からお話を差し上げたとおり、京王電鉄としては、民間の建物を借りて出口を作るといった実例がなく、そういったことは原則的にはしないという中で、京王と区でお話しし、南口整備については区で費用を負担して進めていきたいと考えていたところ。</p>
参加者⑫ (浜田山2丁目)	<p>今のご意見、私も非常にもっともだと思う。私もそのビラを見た。南口整備が決まった段階で、どこまで交渉がされたのか、費用の負担はどうだったのか、京王とはどうなっているのか、そういう話は、何度お願いしても区から語られることはなかった。区長からかん口令が聞かれたのか知らないが、なしのつぶてだった。</p> <p>私はもう一度、区の資料に戻って、いくつか疑問なところを確認したい。まず、3ペー</p>

	<p>ジ目の①について、今まで調査しなかった、というのは甘い。ずっと前から訴えているのに、今年の10月17日に所管で現地視察というのは、まさかだ。区の態度はそのようなものでよいのか。浜田山で皆がどれだけ苦しんでいるのか、区に伝わってないのが問題だ。</p> <p>それから、区がなぜ京王電鉄に対してものを言わないか。これまでの経過について、平成17年から陳情があった、請願があったとかこんな問題ではなく、浜田山駅が地下化される際、この地区の人たちは、南口整備を京王電鉄にお願いした。その結果、将来的に壁に穴を開けて南口を作れるような構造にしておくということになった。そういう経過をご存じないのか。今、3億円だ、代替地にしたら10億円だ、とか、そういう話になっているが、ものは簡単だ。京王がその気になって、浜田山の地下道の正面のみずほ銀行の看板があるところの下を壁を壊せば、数十センチ先に今の建物の壁がある。そういうことを今までも訴えてきたけれども、区が京王電鉄と交渉しないのは絶対におかしい。</p> <p>区の資料には京王電鉄との交渉は何も書いてなかったけれども、今日はその話ができたことが非常に進歩だと思う。ぜひ真剣に、浜田山住民のために、あるいは、京王電鉄がお客のためにどういうサービスをしなきゃいけないかという観点に立って、京王電鉄としっかり交渉していただきたい。</p>
担当課長	<p>現地視察の件については、確かにペーパーに令和7年10月17日に実施したと書いてあるが、それ以前にも行っている。直近のものだけを書いたので、わかりづらくて申し訳ない。</p> <p>京王電鉄との交渉については、次回の説明会までに私が直接京王電鉄に出向き、そういった話をまずしてくる。その結果を、またこういった報告会の中で報告させていただきたいと思う。これはお約束する。</p>
参加者⑬ (浜田山4丁目)	<p>今、京王電鉄の話が出たが、私は区よりも、京王電鉄が駅のことを改札も含めてやるべきだと思っている。私は今、吉祥寺の方に仕事で出ているが、浜田山駅まで来ると、踏切のところで警報が鳴ったということによく止まる。ということは、浜田山駅を利用している人だけが不便を被っているのではなく、井の頭線に乗っている多くの人が被害を受けているわけだから、やっぱりこれは京王電鉄の問題だと思う。ですから、やはり私は100%京王電鉄が出して駅のことはやるべきだと思っているけれども、色々な事情があるみたいだから、少なくとも京王電鉄が中心になってやるべきだと思っているので、そこを強く言ってほしい。</p>
参加者⑭⑬ (浜田山2丁目)	<p>区政の瑕疵を責めるというつもりはなく今日お伺いしたが、1点今日のご発言の中で「えっ」と思った点があるので、共有させていただくと、この南口開設に伴う今期の予算は一切計上していないということに関しては非常に疑問を持たざるを得ない状況。これまでに危険性の話は出てきたけれども、不便の話が出てこなかったので申し上げます、特に8時から9時台というのは、全部各駅停車の運行になるので、1回踏切が閉まる</p>

	<p>と、だいたい6本程度、電車が通過するまで閉まったままだ。だいたい時間にして8分ほどかかっているという現状をまず杉並区が把握をしているのかお聞きしたい。</p> <p>次に、今日の資料の3ページ目の、参加者からのご要望との対応状況の⑤で、「調査員による現地調査等の実施に向けて準備を進めています」と書いてあるが、調査はいつを予定されているか。先ほど予算を計上していないという話があったので、来年度以降という想定だったのかと思うが、まずは区として、どれだけ住民が不便を被っているかという事実を把握するべきだと思うので、不動産鑑定の話と同じく、これは早急に調査をするべきだと思う。</p> <p>それから京王電鉄との話。この先、南口の開設まではやはり時間がかかると思う。それまでの間にやはり不便を解消しないと危険も解消しない。各駅と急行の交互のパターンダイヤだと、比較的踏切が開く時間が長くなるので、場合によってはダイヤの見直しを京王電鉄に協議をしていくという方向性もあるのではないかなと思う。以上3点について、皆さんのご認識をお聞きしたい。</p>
担当課長	<p>整備に関する予算が今年度無かったことに関するご指摘はごもっともであり、反省しなければいけないと考えている。7月の説明会において定点カメラのご提案いただいたことは真摯に受け止めており、定点カメラの設置は難しいとしても、現地調査については、財政当局との交渉になるが、今年度中に実施したいと考えている。</p> <p>ダイヤの見直しについてのご提案があったということは、京王電鉄に伝えていく。</p> <p>踏切の上がる時間などに関して区が確認をしているのかという点については、我々も朝のその時間帯に実際に駅前に立ち、携帯のストップウォッチで計測しながら、どれぐらいの間隔で開いたり閉まったりしているのか把握をしているところ。</p>
参加者⑮	<p>今回の区の資料のうち、令和5年4月以降の区の実施の項目で、令和7年7月28日については、結構具体的に参加者の方からの意見が書かれていて、これは一応よくできていると思う。これは評価したい。</p> <p>一方で、令和6年5月7日、これは私が参加して、1時間半くらいだったか、当時、国土交通省から出向されていられた部長の野口さん、課長の郡司さん、それから今、壇上の席にいらっしゃる大林さん、この3人から直接説明をお聞きした。あのときは、なぜこれが中断したのか、ほとんど説明がなかった。我々住民は、現場の状況や井の頭線沿線で踏切により分断されている場所が他にないのかなど、全部実地で調査した。唯一、この浜田山の南口のところだけが、井の頭線沿線で行き来ができない。こういうことがあったので、区の3名にそれを説明した。先ほど三角公園の話もあったが、実は私たちはその場所も含めて全部調査をして、本当に地権者が協力してくれないと言うなら、最悪の場合は他の手段もあるのではないかなということ、一つの例として、三角公園からトンネルを掘ったらどうかと、これは私の発案だが、それを言った。当時、このような意見・提案を資料も全部添付して行っているのに、なぜ予算取りすらできないの</p>

	<p>か。まさにそこに問題があるのではない。要は住民が困っているから、自ら私たち、自分たちの手と足を使って調べ上げて、こういうルートもある、ああいうルートもある、ということまで、全部そこで説明した。その時、野口部長は、三角公園から掘る提案に対して笑った。とんでもない予算になるから、そんなことよりは、もっと今の地権者と話し合ってやった方がよいと感じていたのだろう。大林さんもそのやりとりを聞いていらしかったはず。そのようなやりとりについて、なぜ今回の資料にしっかり記載しないのか。なぜ一行だけで終わるのか。だから予算が取れないのではない。</p> <p>区が先送りばかりしているうちに、30年も前からこの問題をなんとか解決したいと一生懸命訴えてこられた地域の●●さんという方は亡くなった。早期解決に向けて、皆で協力して考えてほしい。以前、高崎で、小学生がワンちゃんを捕まえようとしてうっかり踏切のないところに入って、上信電鉄にはねられて亡くなったが、その時に高崎市はすぐ動いた。高崎市は、国土交通省や群馬県庁に訴え、なんとかこの問題を解決したいということでNHKの方も呼んで議論した。そういう熱意がなぜあなたたち杉並区にはないのか。おかしい。あなたたちは、自分の領域だけでものを解決しようとして、言い訳を考えているだけではないか。言い訳にすらなっていない。本当にできないなら、どこに問題があるかということを正直に話してもらわなければならない。我々は、この土地を愛していて、これからも末永く住み続けたい。こういう人たちの思いにこたえることがあなたたちの責務であるはず。</p> <p>こういうことすらできないようでは、残念ながら杉並区に対して不信感ばかりが募る。早くこの問題を解決するため、本来であれば区長が出てきて、ここで話だけでも聞くような、そういう姿勢を見せていただきたい。私は浜田山駅南側のマンションの理事長をしているが、誰も南口整備に反対の人はいない。なんとかしてほしい。難しいとしても、知恵を皆で出し合いたいと言っている。うちのマンションの隣のマンションの皆さんたちも同じ気持ちだ。なぜか誰かに付度しているような、言い訳をしているような話ではなく、それを突破するようなお約束を今日この場でしていただきたい。色々な課題があると思うが、私たち住民は、この南口開設を実現するために、色々な知恵を一緒に出し合いながらやっていきたいと思うので、ご協力をお願いしたい。</p>
担当課長	<p>振り返ってみると、私もこの4月にこの職について、7月に説明会を行わせていただいて、生の声を聞くことができ、本当に良かったと考えている。昨年度までの姿勢について、区に課題がある部分はある、それは正直に認めたい。ただ、これからどうしていくのかがやはり重要になってくると思っているので、先ほどもお話ししたとおり、実態調査や不動産鑑定を今年度中にやらせていただきたい。京王電鉄との打ち合わせ、地権者の方へのアプローチ、情報発信についてももしっかりやっていきたい。我々は決して、浜田駅の整備について、手を抜いているとか、そういったことではない。そう見える部分もあったのかもしれないが、これからしっかりと対応してまいりたい。それは皆様に対してお約束</p>

	するので、そこは信じていただきたい。
参加者⑩	<p>単純なお願いだが、今日何人出席して、どういうやり取りがあったか、この議事録をしっかりと公開してほしい。それから、何をいつまでに行うのか、スケジュールをきちんと明示してほしい。</p> <p>そもそも、南口を整備するという前提がなければ、あのような建物を建てることはないだろう。区長が変わったとしても、約束はなかったことにならないのが世の中の常識だと思う。それから、民間ビルの中の駅の出口に関しては、京王電鉄には例がないかもしれないけれども、他の鉄道会社ではたくさん例があり、都内の地下鉄の出口はほとんどが借り物だ。ですから、京王電鉄が言うことを鵜呑みにするなんて変な話。南口ができることで、京王電鉄も乗降客が増えると思うし、不動産の価格も上がるだろう。そういうプラス面も含めてご検討いただきたい。検討の過程で、エビデンスはしっかりと残してほしい。</p>
担当課長	ホームページなどで、今回の議事録をしっかりと出していきたい。今回、区がお約束した点なども、皆様に分かるような形で示していきたい。
参加者⑪ (高井戸東1丁目)	<p>来年度の予算について、お伺いしたい。先ほど来のお話で、やはり今、あの地権者が既に建てていらっしゃる建物を借りるのが一番合理的だと理解した。そのためには代理人を通じて交渉する必要がある、その材料として、不動産鑑定士などの第三者の評価を今年度中に得るということをお伺いした。そうすると、来年度の予算はどのように立てられていくのか。安全とコストということを考えて、杉並区の全住戸に防災防犯グッズを無償配布するという事業があった。もし単価が2000円だとすると、杉並区には32万世帯ほどいるから、予算額は6億4000万円ほどになる。これに対して、妥当な賃料がいくらかわからないが、住民の方々がまとめた資料を見ると、月に250万円、年間3000万円ほど。そうすると、まさに20年分のあそこを借りる賃料分が防災防犯グッズとほぼ同じぐらいの金額になる。南口がないことが、これほど住民の不安、そしてリスクを高めているのに、同じぐらいの金額を使って、本来自分たちで買うべき水や防災グッズを全戸に配布するという判断は、やはりおかしいと思う。来年度、どのような内容の予算をいくらぐらい、この浜田山南口開設に向けて立てられる予定なのか、教えてほしい。</p>
担当課長	<p>これから不動産鑑定をやるということで、現段階で、当初予算で来年度いくらぐらい積むべきだという試算はできない。また、先ほど来申し上げているように、地権者の方との折衝ができるかどうかかわからない状況の中で、数千万円という金額を積むことはできないと考えている。これからの流れとしては、不動産鑑定を今年度中に行い、その価格を持って地権者の方と交渉を行い、来年度中に合意ができる段階に至るのであれば、補正予算を組んで対応することになるかと、現時点では考えている。今後、どういう形でその試算をするのかということによってくるので、当初予算に間に合わないのであれば、しかるべき時期に補正予算を計上しながら取組を進めていきたい。</p>

<p>参加者⑱ (浜田山2丁目)</p>	<p>土地の評価というのは一物一価の法則というのは成り立たなくて、その土地にくらの経済価値を見出すかによって価格の幅がある。不動産鑑定士もピンからキリまでおり、賃料を基に、ぴょっぴょっと決める人もいれば、経済的効果を測定して算出する人もいるので、大きな幅があるということで、鑑定評価のみを信じるのではなく、経済的効果も検証していただきたい。</p> <p>区では、経営会議で重要な意思決定をしているようだが、経営会議の長である区長の意思というのはとても重要だと思う。前の区長がどういういきさつで合意まで急いでやったかはわからないが、次の経営会議でご破算にしようとなったということだと、今の区長は住民の声を聴いて、地下改札をつなげなければならないと思っているのか疑問である。思っていないのであれば、年に2回の報告会だけやっても何の意味もないし、区民と接している皆さん方が一生懸命やっても、リーダーのやる気がないのであれば、全然だめだ。もし、区長がこの問題を重要だと思うのであれば、次の報告会に出てくるべき。やりたいと思うのであれば、これだけの有権者の後押しがあるわけで、やろうと思えばできる。やろうと思わなければずっとできない。やろうと思うのであれば問題点をひとつずつつぶしていこうと事務局にも指示を与えるだろうし、そういうリーダーシップがあつてこそ、杉並区何十万人の区長たる器だ。区長は次の説明会に来て、我々の意見を聞き、自分の意見も述べるべきだ。</p>
<p>担当課長</p>	<p>ご意見として承り、区長に伝える。</p>
<p>参加者⑲ (浜田山2丁目)</p>	<p>説明責任に関して、一番説明責任を果たした状態というのは、実際に、解決策がそこにきちんと具体的な形として作られること。そうしたら、皆さんも説明なんて一言も必要なくなる。一番説明責任を果たしていない状態は、物事が全く進んでいないのに、口先だけでべらべらと色々なことを言い、しっかりの内容もなく、しっかりやりますと言うこと。今の段階がどちらに近いのか、自分で判断すべき。定期的な説明会のご提案をいただいているが、説明会のたびに、必ず具体的な進捗を持ってくること。進捗がない説明会は無駄だ。そして、必ず進捗を持ってきた後には、進捗したからよいだろうではなく、必ずそこから先のスケジュールを示していただきたい。スケジュールなき、一回きりの成功なり、進捗は意味がない。スケジュールをして、まだここが足りないのだと反省することが大事。計画、実行、見直しによる解決策の3つがない会議は時間の無駄。お金を区が出すのか、京王電鉄が出すのかは、私はどちらでもよいと考えているが、本来的には、地域の安全の確保は行政の役割だ。とにかく、次回報告会をやるならば、具体的な進捗、スケジュール、そこからの反省点とさらなる改善点を持ってこない、誰一人として納得しないと思う。</p>
<p>担当課長</p>	<p>ごもっともだと思う。しっかりと対応してまいりたい。</p>
<p>参加者⑳ (浜田山2丁目)</p>	<p>ずっとお聞きしていて、この報告会の一番の雰囲気の問題は、お互いに信頼関係がないことにあると思っている。どうやって信頼関係を地域と区役所との間で築いていく</p>

	<p>か。住民の方々からの要望についてしっかりやっていくとおっしゃっていたので、少し方向性は見えてきた。信頼関係を作っていくには、実行をすることしかない。実行をちゃんとすれば、きちんと信頼ができる。</p> <p>もう1つ、信頼に大切なことは情報公開。お互い、同じデータに基づいて判断をする。そのデータがあやふやだと、信頼関係はできない。もちろん、できることできないことの法律上の線引きはあろうかと思うが、区が配布した資料を見ると、やや防戦的な印象を受ける。自分たちを守ろうという気がどうしてもある。その気持ちもわかるが、その防戦的な気持ちを一旦取っ払って、我々の立場に立ってものを見てみる。そういう姿勢で資料を作り直してほしい。</p> <p>あと1点。裁判と同じだが、こういった向かい合わせだとどうしても対決する感じになるので、ここに中立的な立場の人を置いて、その人に中立的に仕切っていただくのはどうかと思う。信頼関係の醸成と、信頼関係構築に向けた仕組みづくりを考えていただきたい。</p>
--	---

4. 閉会

(担当部長挨拶)

本日はお忙しい中お集まりいただきまして、また、様々なご意見をいただきまして誠にありがとうございます。今回の質疑を通して、改めて感じるといいますか、反省した点として、交渉事で相手があるからというのをどうしても、区が逃げといいますでしょうか、私たちの言い訳のために、使いがちであったということが事実かなと思います。交渉事なので、すべてつまびらかにするということは難しいというところも本当にあるのですけれども、相手がいることだからというところにこれまで甘えがあったと反省をしております。今後、今日お約束をさせていただいたことは、しっかり守るとともに、新たに、浜田山に関することをホームページ等で、今日の経緯やこれまでの経過をしっかりと公開していきたいと思います。

最後に、質疑の中で説明会の参加人数への疑義があったかと思いますが、今ここで人数を数えたいと考えております。今回は171名ということでそのように公開をさせていただきます。また、対話の区政ということで、話し合っていればいいのだという甘えみたいなものも生じないように、しっかりと進捗を生んでいけるように、我々しっかりと取り組んでまいりたいと思いますので、是非これからも一緒により良い浜田山のまちづくり、地域づくりを進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。